

寄せられた声と回答の紹介(令和6年4月受付分)

件名	区民の声	区の回答	担当組織
男性のHPVワクチン接種年齢について	18歳の息子は、中学生のころからHPVワクチンの接種を考えていたが、接種費用が高額のため助成を待っていた。今回、助成が開始されたが、16歳までしか助成対象にならない。男性の助成対象の年齢を広げてほしい。	男性へのHPVの任意予防接種費用助成事業は、東京都の補助事業を利用して開始した制度であるため、助成対象者も「小学6年生相当～高校1年生相当の男性」と定めております。現時点では対象年齢を拡大する予定はありませんが、引き続き国や都の動向に注視して行きます。	健康部 保健予防課
光が丘地区区民館の音楽スタジオについて	光が丘地区区民館の音楽スタジオの機材が古く、電子ピアノの黒鍵が戻らないなど機材のメンテナンスが不十分だ。また、使用料も高いので半額にならないか。さらに職員の対応が人により横柄だったりする。改善してほしい。	スタジオ内の機材は専門業者による定期点検を行っていますが、ご意見を受け、早速、点検依頼を行いました。なお、施設使用料は、受益者負担の原則から利用者に一定のご負担をいただいております。また、窓口対応職員については、利用者に不快な思いをさせることがないよう指導しました。	地域文化部 地域振興課
公園のトイレについて	平成つつじ公園および錦公園のトイレが汚くて臭いため、きれいなトイレに改修してほしい。	平成つつじ公園のトイレは改修を予定しています。小学校などにデザインやアイデアを募集し、駅前の公園にふさわしいトイレになるよう検討しています。 この他の区立公園のトイレも、建て替えや、便器や壁等の更新などを順次検討していきます。	土木部 維持保全担当課
粗大ごみの電子決済について	粗大ごみの電子決済について、早急に対応してほしい。	オンライン決済の導入については、インターネット受付システムの改修や粗大ごみ収集時の確認方法等の課題を整理する必要があり、現在、検討を進めています。	環境部 清掃リサイクル課
みどりバスの路線拡充について	みどりバスの減便があり、その理由が赤字路線と運転手不足であれば、将来も減便傾向が進むと予想される。そこで、問題解決のためみどりバスの運転手補充は、バス会社に相談してOBを再雇用してもらいたい。また、バスと運転手をセットでリースすることにより区が主体的にみどりバスの路線拡充を行うことができるのではないかと。検討してほしい。	すでに運転手確保の課題から事業者は、定年後の再雇用のほか労働時間の短縮や賃上げ等の労働環境の改善、大型二種免許取得の支援等を行い運転手の確保に努めています。区は今回のご意見をバス事業者と運行の検討を行う際の参考とするとともにバス事業者の運転手確保への取組みに協力していきます。	都市整備部 交通企画課

寄せられた声と回答の紹介(令和6年5月受付分)

件名	区民の声	区の回答	担当組織
健康づくりアプリについて	神奈川県川崎市の健康づくりアプリ「かわさきTEKTEK」は、歩いてアプリ内で貯めたポイントを市内の小学校に寄付することができ、学校は寄付されたポイント数に応じた応援金を市から受け取って子どもたちの学校生活を充実させるために活用している。とても素敵な取り組みだと思うので、練馬区でも実施してほしい。	区では、健康アプリ「ねりまちてくてくサブリ」を提供しており、歩数に応じて健康グッズなどが当たるキャンペーンを行っています。しかし、このアプリは歩数ポイントにより寄付をするという機能は搭載していません。ご意見は、今後のアプリのシステム更新時や、健康づくり施策を検討する際の参考とします。	健康部 健康推進課
関町図書館の視聴覚室について	関町図書館の視聴覚室は、団体利用がない日には個人利用として開放されている。席は20人ほどが利用できるが、未だにコロナ対策がとられているため10人分の席しか設けられていない。コロナは、5類感染症となっていることや、利用したい人が多くいることから、20人が利用できるようにしてほしい。	コロナウイルス感染症の5類移行から1年が経過したことや、個人利用が増えていることから、5月28日より20人が利用できるようにしました。	光が丘図書館
ボール遊びができる公園の整備について	近所の公園はボール遊び禁止の所が多い。また、ボール遊びができる公園でも、小学生までしか利用できない。自由にボール遊びができる公園を整備してほしい。	多くの公園が規模が小さく住宅地の中に立地していることから、近隣住民や利用者の声を踏まえて、迷惑となるような危険なボール遊びはご遠慮いただいています。なお、周りをネットで囲われたボール遊びができる区立公園が9か所あり、区ホームページにも掲載しておりますのでご利用ください。	土木部 道路公園課
練馬区におけるSDGsの取り組みについて	国連が掲げるSDGs(持続可能な開発目標)の達成へ向け世界各国で取り組みが盛んであるが、残念ながら練馬区では目立った動きがないのはなぜなのか。地球温暖化対策等自然環境を守っていくことが次世代へつなぐ責務だと思うので、練馬区でもSDGs対策に積極的に取り組んでほしい。	区はこの3月に新たな総合計画「第3次みどりの風吹くまちビジョン」を策定し、23の戦略計画ごとに関連するSDGsの17のゴールを示し、各種施策を通して地球温暖化対策を含んだSDGsの取り組みを進めています。なお、区の取り組みを周知するためホームページに掲載するほか、情報誌「ゆずりは」でリサイクルセンターの取り組み等を紹介しています。	企画部 企画課 環境部 環境課
区民事務所手続きの待ち時間について	練馬区民事務所で、転出届の手続きをするのに時間がかかった。混雑緩和のため、利便性の良い場所に区民事務所を設置したり、webでの予約を受け付けてほしい。	区内に6か所の区民事務所があり、いずれも駅から徒歩5分程度ですが、区役所に来所者が集中する傾向があるため、区民事務所に関する案内やインターネットから転出届が提出可能であることなどの周知を丁寧に行っていきます。	区民部 区民事務所担当課

寄せられた声と回答の紹介(令和6年6月受付分)

件名	区民の声	区の回答	担当組織
ねりまキッズあんしんメールについて	子供の安心安全のため、ねりまキッズあんしんメールを、図書館等の区立施設や郵便局、その他の公共施設でも利用できるようにしてほしい。	ねりまキッズ安心メールは、学童クラブに児童を通わせている保護者が児童の来室・退室をメールで確認することで、保護者の不安を解消し、安全の確保を図る目的で実施しています。これまでも、児童館や地区区民館等、放課後の児童の居場所へ拡大してきました。ご意見をいただいた、放課後児童が立ち寄る施設については、有効性を踏まえながら拡大について検討してまいります。	子ども家庭部 子育て支援課
敬老館のトレーニングマシンについて	筋肉を維持するために上石神井敬老館のトレーニングマシンを使っている。敬老館の機能が変わっても使い続けられるようにしてほしい。	上石神井敬老館は、令和9年度を目途に街かどケアカフェに機能転換し、併設の地域包括支援センターと一体的に運営する予定です。人気のある事業は街かどケアカフェに引き継いでいくことを検討します。今後、ご利用者様向けの説明会を実施し、皆様のご意見をお伺いしながら事業の検討をしていきます。	高齢施策担当部 高齢社会対策課
公園での野球について	早実グラウンド記念公園でバットを使用した野球練習をしている人がいる。周囲に配慮することなく速いボールを投げて、思いきりバットを振っていて危険だ。フェンスで囲んだ場所を設けるか、小さな子が遊べないよう遊具を撤去するなどの対策をしてほしい。	早実グラウンド記念公園は面積が狭く、小さい子どもの利用も多いことから、野球やサッカーなどの危険なボール遊びを控えるよう注意する看板を設置します。看板設置後も改善しない場合には、職員による巡回も検討します。	土木部 維持保全担当課
練馬城址豊島園100周年記念区報の発行について	石神井公園ふるさと文化館で開催された企画展「思い出のとしまえん」では、たくさんの方が思い出話をしていた。来年、練馬城址豊島園100周年ということで、区民の思い出話や写真を募り、記念区報を発行してほしい。区報への関心や練馬愛が高まると思う。	としまえんは、区民に愛されていた施設であることから、令和2年8月に「ありがとう としまえん特集号」を発行しました。現時点では、記念号の発行予定はありませんが、貴重なご意見として承りました。	区長室 広聴広報課
練馬区指定保養施設事業について	コロナ禍で中止となった指定保養施設事業であるが、再開の予定はあるのだろうか。インパウンドなどでホテル宿泊料が高騰しているため、再開してほしい。	指定保養施設事業は、民間旅行会社による様々なニーズに合わせたプランの増加など、制度導入当時から社会的な変化もあり、年々、利用者数が減少していました。このため、令和2年度に実施した事業の総点検による見直しの結果、当事業は令和3年3月までの予約分をもって終了し、現在再開の予定はありません。	地域文化部 地域振興課

寄せられた声と回答の紹介(令和6年7月受付分)

件名	区民の声	区の回答	担当組織
児童相談所について	区長は、就任以来児童相談所は断固として都立であるべきと力説している。区長はなぜ区立ではなく都立にこだわるのかよく分からない。練馬区が都立の児童相談所に固執する理由を教えてください。	区が児童相談所を設置しても、他区や都の児童相談所との入所などの調整をなくすことはできず、区単位ですべてを解決できません。子どもを虐待から守るため、区の子ども家庭支援センターと、都の児童相談所がそれぞれ体制強化を進めるとともに、お互いの強みを活かし連携を強化することが、最も効率的かつ効果的な児童相談体制の在り方であると考えています。	こども家庭部 こども施策企画課
小中学校のプールについて	この暑さでプール指導が中止を余儀なくされている。この天候が続けばプール指導はできないかもしれない。志木市のように近くのスポーツ施設と連携し、委託してはどうだろうか。プールの維持費もかかるので、解体して学童施設に変えることも検討してほしい。	水泳指導においては熱中症対策を行い、安全が十分に確保できると校長が判断する場合には、実施可能とすることとしています。今後、民間プールの活用に向けたモデル事業を実施し、課題の整理および検証を進めてまいります。	教育振興部 教育指導課 学校施設課
小学校の環境について	子どもが通う小学校の教室にはエアコンが設置されているが、気温が高い時には冷房が効かず、扇風機も故障している。体育館にはエアコンが設置されていないので、早急に対応してほしい。	古い空調機は、学校の状況等を踏まえて令和8年度から順次更新できるよう準備を進めています。近く、普通教室の空調機については分解洗浄を行い、天井扇風機については修繕を予定しています。体育館の空調機については今年度中に設置を行う予定です。	教育振興部 学校施設課
区の乳がん検診、子宮がん検診について	がんを早期発見したいので、区の乳がん検診、子宮がん検診を毎年受けられるようにしてほしい。	区は、国が示す指針に基づき乳がん・子宮がん検診を実施しています。指針ではがんの特性を考慮し、2年に1回行うものとされています。これは、様々な研究から、2年に1回でも毎年実施した場合と同じ効果が確認されているためです。以上のことを踏まえ、区では2年に1回の実施としています。	健康部 健康推進課
美化運動について	お花の無料配布を行い美化運動に励む自治体もあるので、区でも同様に取り組んでほしい。	区では、みどり豊かで潤いのある街並みの形成に向け、区民団体の皆様と協働で、公園や駅前広場などの花壇やプランターを、季節の花で彩る活動を行っています。また、区民の皆様が道路沿いの緑化等を行う際の費用助成などにも取り組んでいます。	環境部 みどり推進課

寄せられた声と回答の紹介(令和6年8月受付分)

件名	区民の声	区の回答	担当組織
子宮頸がん予防接種ワクチンについて	子宮頸がんの9価ワクチンについて、他のワクチンと同様に令和5年3月31日以前に接種した人に対しても払い戻しを行ってほしい。	区は、国の方針に基づき償還払いの対象ワクチンを決定しています。9価ワクチンは、令和5年4月からキャッチアップ対象のワクチンとなっていますが、それ以前に自費で接種した場合は、キャッチアップ接種対象のワクチンでないことから、償還払いの対象外となります。	健康部 保健予防課
給水スポットについて	異常な暑さの中では、水分補給が最も大切だ。給水スポットがどこにあるか分からないので、場所を公表してほしい。また、もっとスポットを増設してほしい	区では、プラスチックごみを削減するため、マイボトル用給水機を設置しています。ご意見を受け、給水機の設置場所を区ホームページに掲載しました。また、マイボトル用以外の給水機の設置場所は、東京都水道局のホームページにて一覧を掲載していますので、区ホームページにリンクを掲載し、周知することとしました。	健康部 健康推進課 環境部 環境課
はつらつセンターの増設について	はつらつセンター豊玉に通うことが自分の生きがいであったが、高齢となり通うことができなくなってしまった。自宅近くに同じような機能をもった施設を設けてほしい。	はつらつセンターの増設計画はありませんが、お住まいの近くには「街かどケアカフェ」があります。この施設は、高齢者をはじめとする地域の方が気軽に立ち寄ることができ、介護予防や健康についての相談ができますので、ぜひご利用ください。	教育振興部 学校施設課
防災無線放送について	防災無線の放送内容がよく聞こえず、何を言っているのかわからないため、近隣にある公園に無線放送塔を設置してほしい。	新たに放送塔を設置して、放送塔同士の距離が近くなると、これまで良好に聞き取ることができた地域でも音が重複して聞こえにくくなっていく可能性が高いため、増設は困難です。このため、既存放送塔のスピーカーの向きを調整するなどに対応します。 また、無線放送が聞き取れなかった場合に備え、電話で確認できるサービスや区HP等で情報を発信しています。	危機管理室 防災推進課
たばこのポイ捨て対策について	(小学生からのご意見です) 夏休みの宿題で、1か月間、家の周りのごみ拾いをしたところ、たばこが一番多かった。好きな場所でたばこを吸って捨てる人が多いからだと思う。「あと何メートル喫煙場所」と地図を載せた看板を立ててはどうか。	1か月も続けてごみ拾いをしていただき、ありがとうございます。区には、歩いてたばこを吸うこととポイ捨てをすることを禁止するルールがあります。ルールを守るよう、指導員がパトロールして注意したり、ポイ捨て禁止の看板等も設置しています。ご提案の看板を立てることについて今後の参考にします。	環境部 環境課

寄せられた声と回答の紹介(令和6年9月受付分)

件名	区民の声	区の回答	担当組織
子育て広場について	2歳と4歳の二人の子をもつ母親だ。2人を連れて貫井ぴよぴよへ遊びに行くと、4歳になった子は利用できないと断られてしまった。長男だけ遊べないのは納得できないので、未就学児であれば遊べるようにしてほしい。	子育てのひろば「ぴよぴよ」は、0から3歳までの乳幼児親子の遊び場として運営しています。これは、お子様が成長に伴って遊びの内容も変わることや、動きが活発になることから、小さなお子様の利用上の安全性を考慮したものです。	こども家庭部 在宅育児支援担当課
運動会の組体操について	小学校の運動会で組体操を行うなら、児童や保護者に危険があることを説明し、同意を得る必要があると思う。未だに組体操が禁止にならない理由を教えてください。	運動会で実施する種目は、教育上のねらいを明確にした上で、児童生徒の発達段階や体力等を考慮しながら各学校で決定しています。教育委員会は、児童の体力や技能習得等の実態に応じて適切に実施すること、大きな事故につながる可能性がある技については実施しないよう各学校に注意喚起を行っています。	教育振興部 教育指導課
小学校設備について	八坂小学校の公開授業を見学して、教室のエアコン設備が老朽化により機能低下だと聞いた。計画的に整備していると聞いたが、近年の天候や職員、生徒の体調を考慮して、計画を見直し、早めの対応をしてほしい。	現在、体育館への空調機設置を優先して進めており、設置完了予定は、令和7年度です。一方、多くの普通教室の空調機は、設置から15年が経過し空調効率が低下し始めており、令和8年度から更新する準備を進めています。更新までの間は、フィルター清掃等を適宜行い、機能維持に努めていきます。	教育振興部 学校施設課
子育て・遊び場について	今後、改修される貫井図書館の中に、他自治体の施設を参考に室内あそび場を設けてほしい。	貫井図書館は、美術館との併設という特徴を活かし、児童向け図書のエリア内にお絵描きや工作等ができる「ブック・アート・キッズコーナー」の設置を予定しています。また、おはなしの部屋での読み聞かせ等、児童向けのイベントを実施し、子どもたちに読書を楽しみながら過ごしてもらえる図書館となる計画です。	光が丘図書館
ふるさと納税について	ふるさと納税による住民税の流出が拡大するなか、区も対策を講じるべきだ。区は返礼品競争に加わる考えはないとしているが、練馬の魅力を発信することに重きをおいて参加すればいいのではないかと。例えば、ねりコレ商品やハリーポッターのチケット等の区独自の返礼品であれば、区の魅力を知らせてもらうチャンスにもなると思う。	ふるさと納税制度は、住民自治の原則を破壊するもので本来は廃止すべきものです。そのため、国に対し制度の廃止を含めた抜本的な見直しを求めています。区は返礼品競争に加わる考えはありませんが、練馬の魅力を発信し、区の取り組みを応援していただけるよう、寄附メニューの充実を図っていきます。	企画部 財政課

寄せられた声と回答の紹介(令和6年10月受付分)

件名	区民の声	区の回答	担当組織
乳幼児の遊び場について	児童館は学童クラブがある午後は乳幼児は利用できず、ぴよぴよも利用者数が多いため利用を断念することがある。区役所内や空き家を活用して、乳幼児を遊ばせることができる場所を増やしてほしい。	子育てのひろばは計画的に拡充し、現在、公設・民設合わせて26か所を整備しています。今後も、区内の地域バランスを考慮しながら民設子育てのひろばの拡充に取り組み、安心して子育てができる環境を整備していきます。	こども家庭部 在宅育児支援担当課
連合音楽会について	11月に行われる連合音楽会に子供が参加する。保護者が会場に入れないことは理解しているが、子供たちの雄姿を見たいので、可能であればLIVE配信を検討してほしい。	児童のプライバシー保護に支障があることや、当日の人員等の課題により、ライブ配信を行うことは困難です。当日の演目について後日改めて学校公開等の機会を通じて発表するなど、保護者が参観できる機会を確保していきます。	教育振興部 教育指導課
高齢者いきいき健康事業のメニューについて	遠くまで歩くことができなくなり、高齢者いきいき健康券が使えなくなってしまった。メニューに練馬区内共通商品券を加えてほしい。	いきいき健康事業は、高齢者がますます健康で、いきいきと社会参加できるよう支援することを目的としているため、現時点で商品券のメニューを追加する予定はありません。なお、日常生活のお困りごとがありましたら、担当の地域包括支援センターにご相談ください。	高齢施策担当部 高齢社会対策課
歩行喫煙、タバコのポイ捨てについて	地下鉄氷川台駅からの道路上で、夕方から歩行喫煙者が多く、迷惑している。特に大通りではない路地で多く、吸い殻も捨てられている。何か対策してほしい。	氷川台駅周辺で歩きたばこ・ポイ捨てを行っている方を注意・指導するマナーアップ指導員の巡回・指導を夕方の時間帯に一定期間強化するとともに、歩きたばこ・ポイ捨て禁止の看板を電柱に設置することを検討します。	環境部 環境課
関区民センターの区民サロンについて	関区民センターの区民サロンがまもなく終了するとの掲示を見た。区民サロンでの展示利用がないときは、休憩スペースとして利用者が多いが、終了後もセンター内で同様のスペースは用意されるのか。また、来年度も関区民センター内にクーリングスポットを設置してほしい。	この度、サロンの設置場所に地域包括支援センターを開設することとなりました。センター内の通路にベンチ等を置くなど、皆様にくつろいでいただけるよう検討していきます。 また、来年度も夏季の間、関区民事務所をクーリングスポットとして開放する予定です。開放期間等については、来年度に区ホームページや区報にてお知らせします。	区民部 戸籍住民課

寄せられた声と回答の紹介(令和6年11月受付分)

件名	区民の声	区の回答	担当組織
保育園の見学について	保育園の申込み前に個別に園見学をするが、そもそもどの園を見学すべきかを検討するために情報がほしい。また、1日で情報を集めきれよう、区として合同の園紹介イベントを開催してほしい。	区内には300を超える保育施設があり、会場確保などの課題があることから、一堂に会しての情報発信は困難です。そこで、申込や見学先を検討する際の参考として「保育園等一覧」を発行し、保育園の様子や保育方針をご紹介します。	こども家庭部 保育課
防犯対策について	強盗事件が区内でも発生しており、世の中が不安定になっていると感じる。防犯対策として区内全体に防犯カメラを設置してほしい。	区は自主防犯活動を行う町会等の地域団体に防犯カメラ設置費用の補助を行い設置を進めています。また、教育委員会でも児童生徒の安全確保の観点から通学路防犯カメラを設置しています。引き続きパトロール団体の支援や自動通話録音機の貸与等、地域団体や警察などと連携して安全安心の取り組みを推進していきます。	危機管理室 危機管理課
富士見台駅前広場の喫煙について	富士見台駅北側駅前広場の喫煙を禁止してほしい。また、喫煙に伴い飲酒をしたり、大声を出したりする人がいるので注意してほしい。	区では、「歩行喫煙」と「たばこのポイ捨て」を禁止しており、そのため駅周辺を中心にマナーアップ指導員による巡回指導を行っています。この度ご連絡いただいた場所についても一定期間重点的に巡回を行います。	環境部 環境課
ふるさと納税について	区報11月11日号のふるさと納税の記事を読んだ。ふるさと納税制度は、返礼品という目先の利益で判断し、他自治体に納税することで、在住自治体の行政サービスを低下させ、他の人々が受けられる行政サービスを奪っている。他人に迷惑をかけてまでやっていいことなのか、この点をもっと強調してほしい。	ふるさと納税制度は「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」として創設されましたが、現在は過剰な返礼品競争になってしまいました。 今後とも流出額の現状や制度の問題点について周知に努めます。また、都や他区と連携して、国に対し制度の廃止を含めた抜本的な見直しを求めていきます。	企画部 財政課
ふるさと納税について	ふるさと納税で区の税収が減っているならば、会社の誘致等で増やす方法を検討してほしい。区民はふるさと納税を必要としているので、廃止の表明を撤回してほしい。	ふるさと納税制度は「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」として創設されましたが、現在は過剰な返礼品競争になってしまいました。 区は返礼品競争に加わる考えはありませんが、区の取り組みに応援願えるよう、寄付メニューの充実を図るとともに、制度の抜本的な見直しに向けて取り組んでいきます。	企画部 財政課

寄せられた声と回答の紹介(令和6年12月受付分)

件名	区民の声	区の回答	担当組織
インフルエンザ予防接種について	インフルエンザ予防接種の補助金が板橋区では対象者が18歳までとなっているので、練馬区でも来年度から同様の対象者としてほしい。	東京都の補助事業に準じ、対象年齢を生後6か月から12歳までとしています。対象年齢の拡大につきましては、引き続き、東京都の動向を注視していきます。	健康部 保健予防課
縄文式住居跡について	石神井公園ふるさと文化館の近くにある縄文式住居跡は、こんもりと盛り上がった円形の跡だけで、見てもあまり面白くない。そこで、当時の利用状況を再現する等、わかりやすく学べるようにしてほしい。	池淵史跡公園にある縄文時代の竪穴住居跡(池淵遺跡)は、現在、盛土をして保存しています。文化財は地域の財産であることから、説明板の内容を工夫するなど、多くの方に本遺跡について興味を持っていただけるよう取り組んでいきます。	地域文化部 文化・生涯学習課
同性パートナーの社会保障について	杉並区など10区が共同で、国に同性パートナーの社会保障の向上を求め要望書を提出したが、練馬区も賛同してほしい。	同性婚や同性パートナーシップ制度は広域的な課題であることから、国において結論を出すべき問題と認識しています。今後も、当事者の声を伺いながら、都制度と連携して取り組んでまいります。	総務部 人権・男女共同参画課
緑地の車止めについて	南大泉実りの緑地の車止めが、丸くて間隔が狭いため、車イスが通れない。さらにこの車止めは低いので、夜は見え難くぶつかりそうで危険だ。バリアフリーを考えて改善してほしい。	現地を確認し、車イスの通り抜けができるように車止めを改善します。 また、現在の車止めの形状は、低くて夜間見えづらく危ないと思われることから、来年度、出入口の抜本的な改修を行い、バリアフリーに対応した車止めを新たに設置します。	土木部 維持保全担当課
光が丘駅周辺の駐輪場について	子供の進学へ備えて、光が丘の駐輪場の予約を行ったが、3年以上待ちと言われた。慢性的な駐輪場不足であると考えるので、早急な対応をしてほしい。	光が丘駅周辺の駐輪場は非常に需要が高く、これまでも、可能な限り駐輪場を整備し収容台数の確保に努めてまいりましたが、新設については土地の確保に苦慮しております。今後も、収容台数の確保に努めていきます。 なお、近隣には待機者が少ない駐輪場がありますので、ご検討ください。	土木部 交通安全課

寄せられた声と回答の紹介(令和7年1月受付分)

件名	区民の声	区の回答	担当組織
産後ドゥーラ養成講座受講料助成について	産前産後の女性の助けになりたいので、区も産後ドゥーラ養成講座の受講料を一部助成してほしい。	温かいお気持ちに感謝申し上げます。現在、特定の資格の取得に向けた費用を補助する予定はありませんが、区では地域で育児を支えあう「ファミリーサポート事業」の援助会員になるための講習会を年4回実施しています。産後の子育て家庭を支援するための講座となりますので、受講をご検討いただけますと幸いです。	こども家庭部 在宅育児支援担当課
ベビーシッター利用支援事業の対象年齢について	学童クラブに入会できなかった場合にベビーシッター利用支援事業が利用できるよう、他の自治体のように対象年齢を引き上げてほしい。	ベビーシッター利用支援事業の対象児童の年齢拡大については、ご意見を踏まえ今後検討していきます。 なお、ファミリーサポート事業では、小学6年生までの児童を対象に預かっていますので、ご検討ください。	こども家庭部 在宅育児支援担当課
小中学校連合書き初め展について	小中学校連合書き初め展で、会場が狭いため、展示作品数を少なくすると案内を見た。子ども達のモチベーションが下がってしまうので、日程や会場を分けたりして、展示作品数を減らさないでほしい。また、今年度展示されなかった作品も別日程で展示してほしい。	書き初め展については、区立美術館の改築に伴う作業のため、今年度は別会場で行いました。できる限り多くの作品を展示できるよう、小学校と中学校の展示会場を分けて開催し、表彰する作品数はこれまでと同数としました。 また、展示できなかった作品についても、各学校で展示を行い、なるべく多くの方にご覧いただけるよう配慮もしています。今後も可能な限り多くの作品を展示できるよう、会場の確保や展示方法の工夫等について努めていきます。	教育振興部 教育指導課
乳幼児健診について	乳幼児健診は平日に実施されるので、仕事の都合をつけるのが難しい。特に3歳児健診では多く親が働いているので土曜の実施日を設けてほしい。	区の健診に従事する医師などは、地域の開業医や大学病院等に依頼していますので、土日の開催は非常に困難な状況ですが、引き続き、皆さまが受診しやすい健診のあり方について検討を進めていきます。	健康部 豊玉保健相談所
みどりバスのルート再編・減便について	みどりバスのルート再編・減便に反対する。せめて30分に1本は運行してほしい。減便により削減できる費用はわずかで、高齢者がみどりバスを利用し元気に生活することは、区にとっても経済効果があるはずだ。	区としてもバス事業者と協議しましたが、バス利用者の減少、運転手不足、人件費や燃料費の高騰などの理由から、ルート再編・減便を実施することとなりました。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどお願いいたします	都市整備部 交通企画課

寄せられた声と回答の紹介(令和7年2月受付分)

件名	区民の声	区の回答	担当組織
ベビーシッター利用支援事業について	私は3人の子供を育てており、ワンオペ育児をしている。ベビーシッター利用支援事業のおかげで、経済的に躊躇せず子を預けられ、病院へ行けたりやストレス解消につながり助かっている。来年度も事業を継続してほしい。	区では、令和6年7月からベビーシッター利用支援事業を開始し、令和7年度も継続予定です。詳細は3月下旬に区のホームページで案内予定です。また、ファミリーサポート事業も実施しており、子育て支援課や子ども家庭支援センターでは子育てに関する相談を受け付けています。	こども家庭部 在宅育児支援担当課
小学校のトイレ改修等について	小学校の校舎は相当古く感じる。特にトイレや手洗い場のリフォームが必要だ。	区では、児童・生徒の良好な環境を整備するためトイレ改修工事を順次実施しています。また、あわせて給水設備についても、各校の建築年次等を勘案しながら、適宜改修工事を進めています。	教育振興部 学校施設課
5歳児健診の実施について	練馬区では5歳児健診を行っていないが、非常に大切な時期なので医師や保健師に診てもらいたい。区では実施についてどのように考えているのか教えてほしい。	国は、今後2～3年後をめどに、5歳児健診を実施する体制を構築するよう各自治体の方針を示しました。区はこれを受け、医師会等の関係機関と検討を進めています。なお、お子様の成長や子育てに関する相談は、保健相談所や子ども家庭支援センターでも受けていますのでご利用ください。	健康部 健康推進課
西武バス路線(泉38系統)の廃止について	西武バスの路線(泉38系統)が3月末で廃線になることに驚愕している。高齢者の利用が多く、重要な交通手段であるため、当該バス路線は必須である。大江戸線開通後の路線変更や廃止、新路線による代替案が決定するまでは現在の路線を維持できるよう検討してほしい。	西武バスは、運転手不足などの理由から当該路線の廃止を決定しました。区は、現在の運行を維持するよう西武バスに求めてきましたが、計画の見直しなどは難しいとのことでした。公共交通が利用し難い地域においては、みどりバスの再編や新たな交通手段の導入など様々な可能性を検討していきます。	都市整備部 交通企画課
ながらスマホの厳罰化について	スマートフォンを片手にながら歩きをする人をよく見かけ、危険に感じている。車や自転車のように、歩行者のながら歩きも条例で禁止すべきだ。	道路交通法の改正により、スマートフォンを操作しながらの自転車運転に対する罰則が整備されました。区はこの法改正を区報やホームページで周知しています。 また、歩きスマホについては、法や条例で罰則規定を設けることは現在予定していませんが、区は、警察が実施する啓発キャンペーン等と連携するなど、引き続き啓発活動を強化していきます。	土木部 交通安全課

寄せられた声と回答の紹介(令和7年3月受付分)

件名	区民の声	区の回答	担当組織
子どもワイルドステイの対象年齢について	子どもワイルドステイの対象年齢が2歳からなのはなぜか。育児が辛い時に助けてもらいたいのので、生後2か月頃から預けられるようにしてほしい。	トワイルドステイは、施設側の受入体制上の課題や、区民ニーズ等を総合的に勘案して、現在の対象年齢を設定しています。代替事業として、ファミリーサポート事業やベビーシッター利用支援事業のご利用をご検討ください。	子ども家庭部 在宅育児支援担当課
公立小学校指定の体操着について	小学校から、校章入りの体操着や帽子を指定店で購入するよう指示されている。安価なら気にならないが、量販店では考えられない価格だ。高額な商品を指定の店から買わなければならない理由を教えてほしい。	学校の体操着や帽子などの指定は、学校長が決定しています。教育委員会としては、できる限り低価格で購入できることが望ましいと考えており、今後、体操着などの選定に当たっては、保護者などの意見を伺ったうえで検討するよう、改めて各学校に通知します。	教育振興部 学務課
24時間利用可能AEDの設置拡大について	AED設置箇所マップを見たが、設置場所が駅周辺など偏っており、かつ24時間利用可能箇所がかなり限られている。他区では政策として、コンビニエンスストアへの設置が推進されているので、練馬区でも24時間利用可能なAED設置場所を拡大してほしい。	他自治体では、AEDを24時間利用できるよう、屋外設置に取り組んでいる事例がありますが、利用しやすい一方、盗難、破損等の課題があります。練馬区は、24時間利用の可能性を検討するため、課題の調査を開始したところです。区立施設以外の設置状況も踏まえながら、設置や周知を進めていきます。	健康部 健康推進課
みどりバスの増便について	みどりバスは高齢者の足として重要なので、30分に1本の運航を、検討してほしい。	バス利用者の減少や物価高騰等、バス事業者を取り巻く環境は厳しいものとなっています。バス事業者は、限られた運転手を効率的に配置するなど、経営改善を図るとともに、長時間勤務の解消による労働環境の改善を進めています。 区としては、バス事業者に対し、現状の利便性を確保するよう求めてきましたが、現状維持は叶いませんでした。	都市整備部 交通企画課
補助135・232号線の整備計画について	補助135・232号線の整備計画は数十年前に作られたもので、道路整備が急遽進むことに驚いている。区の事業推進のプロセスは、住民、保護者をないがしろにせず、意見交換やアンケート等の実施等、説明・周知をしっかりと行い、納得される区政運営をしてほしい。	区は大泉学園駅南側地区のまちづくりについて、これまで長年検討を続けており、昨年、取組方針(素案)を作成しました。作成にあたっては、周辺地域住民への全戸配布、説明会の実施や小中学生へのアンケート等の周知を行っており、地域の皆様方から様々なご意見をいただいています。今後もより丁寧に周知・説明を行い、検討を進めてまいります。	土木部 特定道路課 教育振興部 学校施設課